

授業科目名： 聴覚障害教育指導法Ⅱ	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 宍戸 和成 担当形態：    単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	特別支援領域に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 特別支援教育においては、子どもの障害の特性や個々の実態等に応じて指導することが重要である。本授業では、聴覚障害の特性に応じて、特に重要となる言語指導について学習する。学校教育においては、教育課程として、自立活動が設けられている。そこで、その位置づけと内容、また実際の指導・学習の内容についての基本的な事項を身に付ける。さらに、教育の今日的な課題についても学習する。 【到達目標】 ①聴覚障害教育における言語指導について、基本的な知識や方法を説明できること ②聴覚障害教育における自立活動の指導について、基本的な知識や方法を説明できること ③自立活動の指導の授業案を作成できること			
授業の概要 本授業では、聴覚障害のある子どもの教育における言語指導を中心に、その歴史や制度、教育のシステム、教育課程の変遷、重複障害（聴覚障害に他の障害を併せていること）のある子どものコミュニケーション等について学ぶ。「聴覚障害教育指導法Ⅰ」などの科目で習得した基礎的・基本的な知識を基に、主として、聴覚障害のある子どもの自立活動の指導に焦点を当て、その意義、目的、内容、方法、指導計画等の実際について学習する。			
授業計画 第1回 子どもの言語発達について 第2回 聴覚障害教育における言語指導について ーコミュニケーションを活用してー 第3回 聴覚障害教育における言語指導について ー聴覚活用と発音・発語指導ー 第4回 聴覚障害教育における言語指導について ー多様なコミュニケーション方法を用いてー 第5回 聴覚障害教育における各教科等の指導の実際 ー学習指導案の作成・授業実践・授業改善ー 第6回 ICTの活用と教材の発見 第7回 特別支援学級と通級による指導の実際 第8回 養護・訓練から自立活動へ 第9回 カリキュラム・マネジメントと教育課程の評価・改善 第10回 幼稚園における自立活動の指導 ー家庭との連携も含めてー 第11回 小学部等における自立活動の指導 ー日本語の習得と自己理解ー 第12回 中学部・高等部等における自立活動の指導 ー障害の認識と意欲の喚起ー 第13回 各教科等の指導と自立活動の指導の実際 第14回 聴覚障害教育における自立活動の指導の実際 第15回 聴覚障害教育における個に応じた指導の追求 定期試験			
スクーリングでの学修 スクーリング（オンデマンド）では、第5回、第10回から第14回の内容について、具体的な事柄を交えて、包括的に扱う。			
テキスト ①宍戸和成/原田公人/庄司美千代（2023）「聴覚障害教育の基本と実践」慶應義塾大学出版会 978-4-7664-2862-9 ②文部科学省 著作(2020) 「聴覚障害教育の手引 ー言語に関する指導の充実を目指してー」ジアース教育新社 978-4-86371-562-2			
参考書・参考資料等 文部科学省 著作（2018）「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説自立活動編(幼稚園・小学部・中学部)」開隆堂出版 9784304042317			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			